

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第4巻 第4号

2018年3月号

浜田医療センター附属看護学校

卒業式、予餞会、謝恩会・・・1P～2P

65期生模擬患者演習・・・3～4P

65期生基礎Iまとめの会・・・5P～6P



3年生（63期生）

ご卒業おめでとうございます！！

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
TEL0855-28-7788
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp
<http://www.hamakan-nh.jp/>

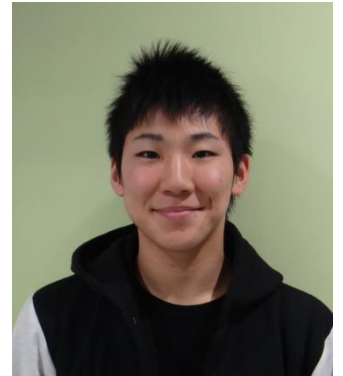
発行責任者 石黒眞吾
編集責任者 高下智香子
編集 田儀千代美、隈部直子、小田川良子、畑中美保
崎本美子、山岡富美香、福嶋洋子
三家本八千代、岩成美樹、松野由香
金山和正



～63期生卒業式・予餞会・謝恩会～

卒業式を終えて

卒業式を終え、今は清々しい気持ちです。浜田医療センター附属看護学校に入学してからあっという間に3年が過ぎました。その間、看護に関する知識や技術など多くのことを学ぶことができました。実習で患者さんとの関係に悩み、どう看護していけば良いか分からなくなった時には、先生や実習指導者の方々が親身になってサポートしてくださり乗り越えることができました。また、ここまで育ててくれた家族に感謝し、少しでも親孝行できるようにしたいです。私はこの学校で学んだことを自信にして、これから看護師として臨床で多くの方々と関わり、経験を積んでいきたいと思います。さらに、地元就職することで地域のために少しでも力になることができれば幸いです。ありがとうございました。



3年生 西川 龍平



3年生 田中 麻衣

私達63期生は3年間の感謝の気持ちが伝わるような卒業式にしようと、教員と流す音楽の調整や卒業証書授与の際の動きについて何度も話し合いを行いました。意見がなかなかまとまらないこともありましたが、最後にはみんなが納得のいく、より良い形で卒業式を迎え、終えることができました。

私はこの3年間で何度も悩んでやめたいと思うこともありましたが、クラスのみんなの支えや教員・指導者の方々の支えがあったからこそ乗り越えられたのだと思います。

4月からはそれぞれが違う場所に就職・進学しますが、3年間で身に付けた知識や技術をこれからの活かしていきたいと思います。



答辞 3年生 山本 政興



送辞 2年生 竹下 舞



予餞会を終えて

初めて予餞会に参加し、日頃から勉強や実習に励んでおられた3年生への感謝の気持ちを表すことができました。私達が入学してすぐに実習で忙しそうにしている3年生の姿を見て、初めは全く実習に対して実感が無く、同じようにテキパキと行動できるようになれるのか不安でした。入学して1年が経ち、私達も実習に行かせて頂くようになり、3年生がどれだけの努力や実績を積んできたかも分かるようになりました。これから新たな道に進まれる3年生も新しい場所で慣れないことも多く、緊張や不安を感じる人が多いと思います。そんな時にも、この学校で学んだことや努力してきたことを自信に頑張ってもらいたいと思いました。2年生になる私達も1年生の時とは違い、より一層勉強や実習に力を入れて、目標となるものに近づけるように頑張っていこうと思いました。



1年生 松村 美月



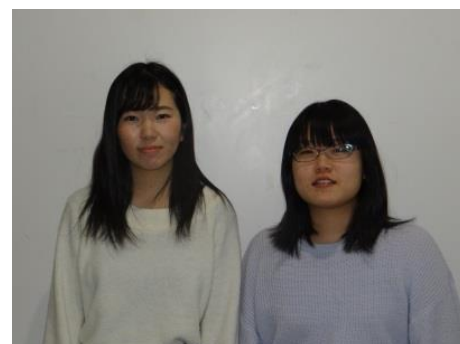
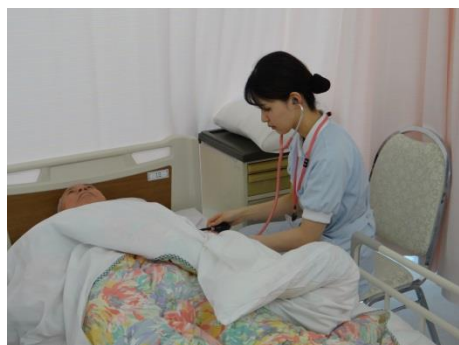
謝恩会を終えて

3月2日に行われた謝恩会では、3年生全員で協力して無事に終わることができました。実習や国家試験勉強と並行しながら準備をしたので大変でしたが、クラス全体の協力体制が良かったと思います。私は謝恩会の代表者として、謝恩会実行委員を引っ張っていく役割でした。各役割のグループと連携を取り合ってまとめていきましたが、時には上手く報告・連絡できないことがありました。全体をまとめることの難しさや協力体制が重要性を学びました。謝恩会当日は大きなトラブルもなく、スムーズに実施できました。また、謝恩会に参加していただいた方々にも好評であったことを聞き、私たちの感謝の気持ちが伝わったのではないかと思います。63期生の仲間や相談に乗ってくださった教員、参加してくださった方々に改めて感謝したいと思います。最後に、これから新しい場所で63期生それぞれの道で頑張っていきたいと思います。



3年生 小池 愛莉

～65期生(1年次)模擬患者演習～



1年生

若槻 朱里 川角 汐里

65期生は基礎看護学実習Ⅰ（その2）の前に、シルバー人材センター会員の方々に模擬患者役を依頼し、入学してから身につけた看護技術を実践する演習を行ないました。今回の演習は学生2人で協力して、模擬患者役の方に血圧測定等の体調の確認（バイタルサイン測定）を行い、体を拭くこと（全身清拭）と足を洗う（足浴）技術を実践しました。当日の演習では臨床現場を考慮し、模擬患者役の方から行う援助を伝えてもらい、学生が模擬患者役の方に誠実な対応を考慮するように計画しました。今回の模擬患者演習が、学生にとってどのような学びにつながったかをインタビューを通してご報告します。

Q：模擬患者演習の説明をどう感じましたか？

若槻：説明を受けた際、制限時間が30分と私の中では短い時間の中でバイタルサイン、全身清拭、寝衣交換、足浴と今まで習ってきた援助技術を行うことから、時間以内にできるのか、また、模擬患者さんに対して緊張せずに行えるのか不安で一杯でした。

川角：1人で行う技術ではないので、連携がうまくとれるようにペアの人と練習を沢山しなければならないなと思いました。また、シルバー人材センターの方に模擬患者役として来て頂いているので、なるべく負担をかけないようにしなければならないなと思い、緊張しました。

Q：それで2人はよく実習室を利用して自己練習をしていたんですね。

川角：自分達の未熟な技術で模擬患者さんに不快な気分になってほしくなかったので、練習をし、気持ちよく帰ってもらいたかったからです。

若槻：2人でスムーズに援助ができるように、相手が次に何をするか、自分はどの立ち位置にいて何をすべきか、一緒に考え意見を出し合いながら練習しました。

Q：練習の成果は、いかがでしたか？

若槻：演習本番では、バイタルサイン測定と足浴になりました。バイタルサインは川角さんがしていたのですが、とても落ち着いてスムーズにできていたと思いました。足浴は自分がすることになっていましたが、練習どおりにでき、お互いをフォローしながら援助を実施することができました。

川角：落ち着いていたといわれましたが、本当は急な変更で戸惑い対応に遅れをとってしまいました。でも、意識して練習した部分はうまくいくことができたので嬉しかったです。

Q：援助が終了した後、模擬患者さんからのアドバイスは何をいただきましたか？

若槻：足浴を実施する際、仰臥位で膝を屈曲させ膝窩に安楽枕を挿入して行いました。その時、足が開かないようにタオルケットで足を巻いたのですが、巻きがゆるくて模擬患者さん自身に体勢を支えてもらいました。患者さんから、「私はまだ元気だから自分で体勢を保てるが、病気で体勢を保つことができない人がいると思うから、そういった人のことも考えたほうがいいよ。」とアドバイスを頂き、これからの練習で患者さんが安楽に援助を受けてもらえるようにしたいと思いました。

川角：あと、「入院中に足の爪を切ってもらうのが気持ちが良かったので、してくれると嬉しいと思う」と言われました。

Q：模擬患者演習を終了した率直な感想をどうぞ。

川角：自分達なりに一生懸命練習して本番が終わったのでほっとしました。直さなければならないこともあるけれど、模擬患者さんに「気持ち良かった」と言われたので達成感がありました。

若槻：まだまだ練習が足りていないなと感じました。模擬患者さんのアドバイスでも頂いたように安楽な援助ができていなかったり、コミュニケーションが思うようにできなかったりなど看護師になる為の技術がまだまだ身につけていないと思いました。

Q：模擬患者演習の目的は達成できましたか？

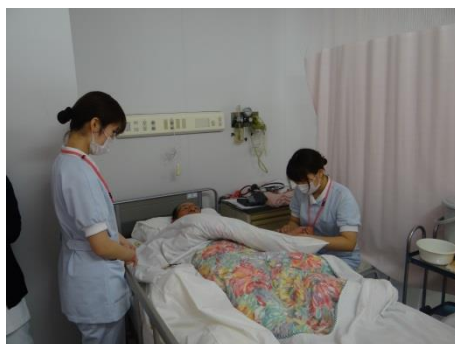
川角：早めに練習に取り組むことで先生方から分からないことや上手くいかない点などを聞き実践することで、技術の向上に活かすことができたので、達成できたと思います。

若槻：練習を開始した頃と比べると、自分の技術を向上させることができました。ペアでやったということもあり、自分では気付くことのできなかった点を相手に教えてもらい、よりよい技術の向上につながったと思いました。演習終了後に先生から頂いたアドバイスではより発展的なことを教えてもらい、技術向上のためのポイントを知ることができました。

Q：最後に、模擬患者演習を通して、実習へ向けての学びと意気込みを聞かせてください。

川角：一番基礎的なコミュニケーションを取ることが上手くいかなかったので、表情を見ることから観察し患者さんの気持ちをくみ取れるようにしていきたいです。演習の時に足浴だけと言われ戸惑ったので、状況に応じた看護ができるように実習に向けてがんばっていきたいです。

若槻：今回の模擬患者さんは元気で、また一年生である私たちに気を使ってくださってました。しかし、実際の病棟では患者さんは病気で身体も精神も弱くなっておられると思います。模擬患者さんに実施させてもらった援助技術では病棟患者さんに安全・安楽な看護ができないと思いました。そのため、自己練習で模擬患者演習を通して足りなかった援助技術をしっかりと身につけ、実習で練習の成果が現れるようにしたいです。またコミュニケーションは、患者さん一人ひとりに合ったコミュニケーションをとることができるようにしたいと思います。模擬患者さんや技術を見ていただいた先生のアドバイスを生かして実習に臨みたいと思います。



65期生(1年次)基礎看護学実習Ⅰ(その2)まとめの会

2月上旬に5日間の実習に行き、初めて受け持ち患者さんに1年次に習得した看護技術を実践する実習を行いました。そして2月22日(木)の午後、実習でお世話になった指導者さんたちを前に実習室で、学んだことの報告会を行いました。

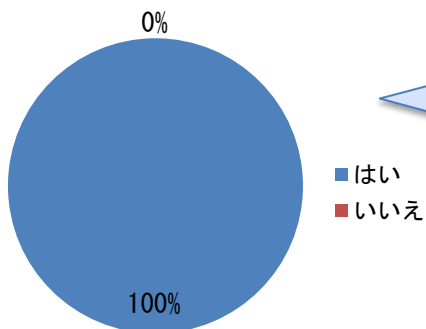
まとめの会の目標は次のとおりです。

1. 実習で学んだ看護技術のテクニックの原理原則と応用について明確にする。
2. 看護技術を演じ学びあうことで、多くのテクニックについて学ぶ。
3. 次回の実習に向けて、自己の課題を明確にする。

学生はまとめの会を行うのに、5時間の準備時間以外でも互いに話し合いや技術練習を行い、発表への準備をしてきました。資料作成やわかりやすい発表を行うことを通して、多くの学びがあったことを学生へのアンケート調査から報告します。

Q：まとめの会は自分の学びにつながりましたか？

全員が学びになったと応えてくれました。

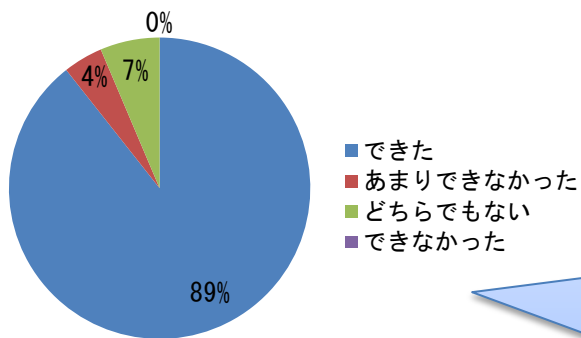


- ・すごく勉強になった。他病棟は疾患もケアも違うのでいろんなことが知れてよかった。
- ・まとめたことでより考えることができた。
- ・発表をすることでさらに頭に入れることができた。
- ・他の病棟の発表を聞いて、次回の実習に生かそうと思ったことがたくさんあった。

Q：今回のプレゼンテーションを体験し、効果的な発表方法について学びましたか？

約9割は「できた」と答えていました。

人前で発表することも専門職として今後必要な能力です。



- ・学会のような感じを発表者として味わえて緊張したが、勉強になった。
- ・アイデアをだしていたグループがいて、学びを報告するだけでなく、今後アイデアを出すような学習をしたい。



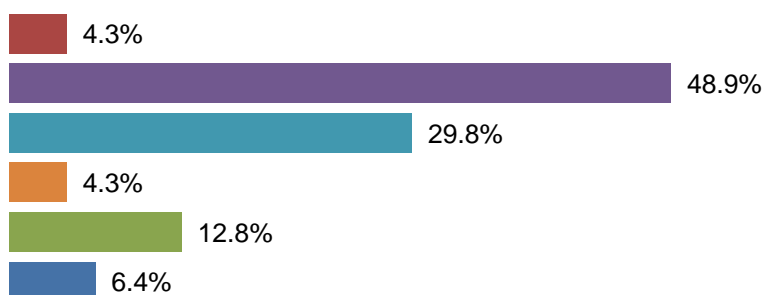
各病棟グループの発表した内容は以下のとおりです。

実習病棟グループ	内容
3階北	個別性に応じた清拭と陰部洗浄
3階南	お座敷で生活している患者さんのケアと環境整備
4階北	バイタルサイン測定と禁忌肢位の指導
4階南	フィジカルアセスメント
5階北	対象に合わせた環境整備と陰部洗浄
6階緩和	個別性に応じた陰部洗浄とおしり交換



Q：効果的なプレゼンテーションだったと感じた実習グループに投票しましょう。

■ 3階北 ■ 3階南 ■ 4階北 ■ 4階南 ■ 5階北 ■ 6階緩和



お座敷で生活している患者さんのケアと環境整備

3階南病棟に実習に行ったグループが最も効果的な発表でした。その理由は以下のとおりでした。

- ・「超低床ベッド」についてよくわかり、ケアの仕方が学べた。
- ・「超低床ベッド」という見慣れない環境と生活について学べた。
- ・事前に撮影したビデオと実際に演じるという二通りの方法をみせる工夫点や自分たちなりの提案をしていた。
- ・病態関連図を自分たちなりにわかりやすくまとめていた。
- ・病態としっかり結び付けていたから、わかりやすかった。
- ・個別性が感じられ、ひとつの動作ごとに説明があってわかりやすかった。

他にも実習中に「パンフレットだけではどんなものかわからない」といわれた患者さんの言葉から、ソックスエイド（前傾姿勢に制限のある患者が自力で靴下を履く補助具）というものを作成したグループもあり、有意義な時間となりました。



バイタルサイン測定



対象に合わせた環境整備



清拭と陰部洗浄

平成30年
4月3日 (火)



OPEN SCHOOL



時間 9:00~12:30
受付開始時間 8:30~9:00

連絡先 (オープンスクール担当)
浜田医療センター附属看護学校
電話番号 0855-28-7788
FAX番号 0855-28-7789

申込み締切 3月30日 17:00
<http://www.hamakan-nh.jp/>
所在地: 浜田市浅井町777-12

JR浜田駅前浜田医療センター隣
駐車場がありませんので、ご参加の際は、公共
交通機関、民間の駐車場などのご利用をお願いします。

プログラム

- ・ハンドマッサージを体験してみよう!
- ・赤ちゃん人形で沐浴体験してみよう!
- ・知ろう、みんなの涙香
- ・日常活用できる創傷処置をしてみよう
- ・知ろう、自分の体!~聴診体験~

看護学生との交流会

- ・看護についてなんでもきいてみよう
- ・保護者 進路相談



National Hospital Organization
Hamada Medical Center & Hamada Nursing College

今後の予定

編集後記

- 4月3日 (火) オープンスクール
- 4月4日 (水) 始業式
- 4月6日 (金) 入学式
- 4月27日 (金) 新入生歓迎会
- 5月1日 (火) ナイチンゲール生誕祭
- 5月2日 (水) スポーツ大会

今年も3年生(63期生)36名が卒業され新社会人として巣立っていきました。

学校では冬に1年生にインフルエンザが流行しましたが、マスクや換気などの対策で拡大に至らずよかったです。

来年度は新1年生として66期生が入学されます。その様子を次号で伝えればと思っておりますので、今後ご愛読の程よろしく願いいたします。